

5年算数「平行四辺形と三角形の面積」

第3時(9時間取り扱い)

高さが外にある平行四辺形・求積の見通しを持てる

本時の授業の概要

前時において学習した平行四辺形の面積の求め方をもとに、高さが平行四辺形のの外側にくる場合にも、公式が適用できることを理解することをめざす。高さが平行四辺形の外側にくる場合の底辺と高さの関係を把握することは難しいため、ていねいに取り扱い、底辺と高さの関係の理解をより深める。

本時の目標

高さが平行四辺形の外側にくる場合にも、平行四辺形の面積を求める公式が適用できることを理解する。

活用場面

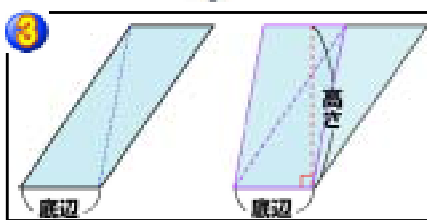
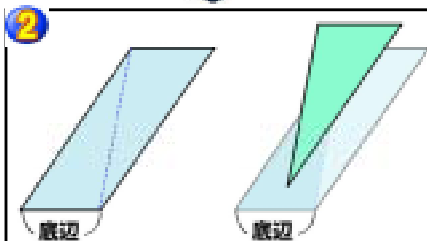
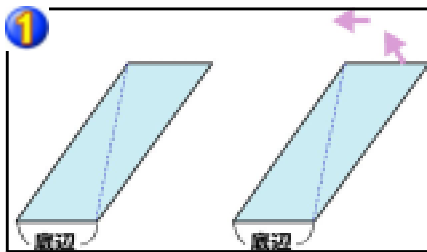
課題発見

見通し

一般化

まとめ

習熟



どうすれば平行四辺形の面積を求めることができるか確認する

① T：この平行四辺形は、このままでは面積を求めることができませんね。どんな図形にすれば求めることができますか。

C：正方形・長方形

C：普通の平行四辺形

T：工夫して変形して面積を求めてみましょう。

2つの鈍角三角形を組み合わせて平行四辺形になるコンテンツを提示し、どのようにすればよいのか考える

② T：切った三角形が移動しているけれども、このあとどうなるのだろう

C：2つが組み合わされて、平行四辺形ができる

T：この平行四辺形の面積なら公式で求めることができますね。

T：実際に求めてみましょう。できたら、他の方法でもやってみましょう

【ワンポイントアドバイス】

3角形を2つ組み合わせて平行四辺形ができるデジタルコンテンツを途中で止め、どのようになるのが児童の中からアイデアが出てくるようにする。

やり方に気づいた児童は、最後までデジタルコンテンツを見せずに自分で取り組ませてもよい。

【サイト情報】

http://kids.gakken.co.jp/campus/academy/amagasaki/h13-14contents/vol1/p90_02_01.html

(尼崎デジタルコンテンツ研究会)